



みんな笑顔になあれ!

水谷孝次さんは、これまで多くの人たちに
幸せとはなにかをたずねてきました。

写真・水谷孝次



2005年の「愛・地球博」では、水谷さんが撮影した世界の子どもの笑顔が大型ビジョンに映し出され、たくさんの人に注目された。



水谷さんはこれまでに、23か国、約2万人の笑顔写真を撮影してきた。撮影している水谷さんのまわりには、いつも笑顔があふれている。

みんなの笑顔が見たい!
南アフリカ共和国のある村。貨物コンテナを改造してつくった教室がある。電気はない。子どもたちを撮影しようとカメラを向けると、とびきりの笑顔をつくってくれた。
「メリー(幸せ)? いいえ。でも、今日は幸せ。なぜって? あなたが来てくれたからよ!」
その言葉に、ほくも笑顔になる。世界にはつらい毎日を送っている人たちがたくさんいる。でも、なぜだろう。そういう人たちがほど、笑顔がかがやいているのだ。
多くの幸せは、世界中に笑顔の輪が広がることだ。みんなが笑顔でいられたら、すばらしいことだね。



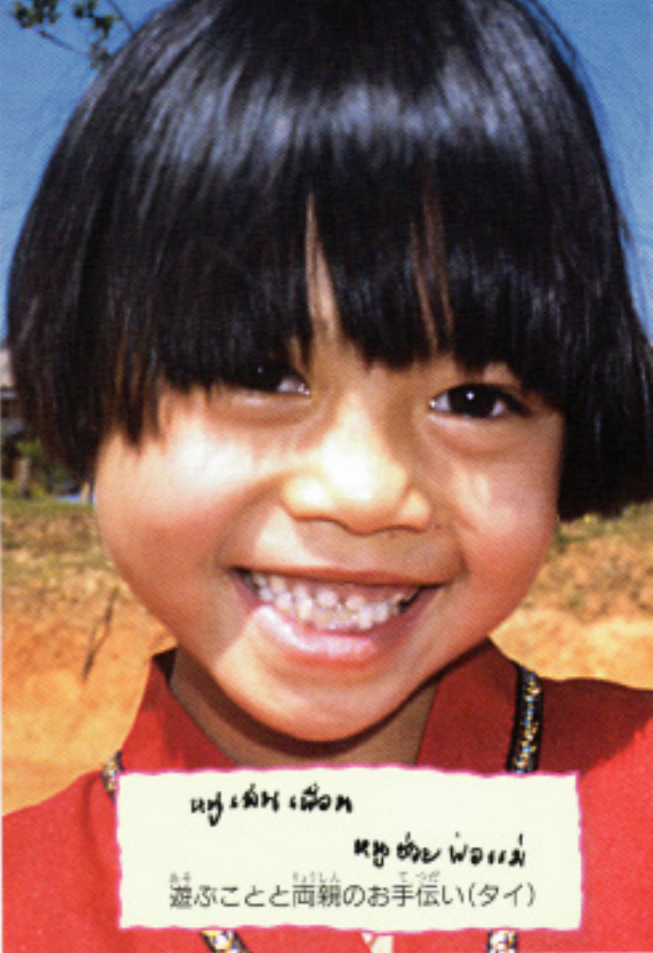
Jugar, acariciar mi gato, besar, y que mamá me haga masajes. 猫や犬と遊ぶこと、ママのマッサージ(アルゼンチン)



Smiling
笑顔でいられること(ケニア)



考试考第一名!
テストで一番になること(中国)



การพักผ่อน
遊ぶことと両親のお手伝い(タイ)

きみの幸せはなに?



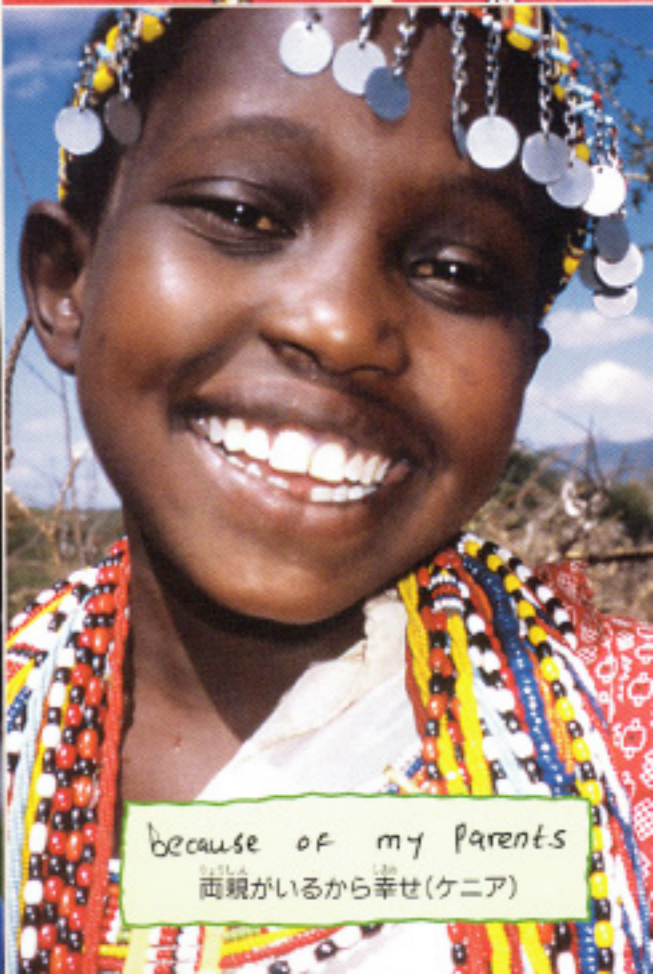
So good Swiss chocolates & dolls!
おいしいチョコとお人形(インド)



FISHING
魚つりをする事(オーストラリア)



Катание на коньках и общение с друзьями
スケボーと、友だちに会うこと(ロシア)



because of my parents
両親がいるから幸せ(ケニア)